



土田美恵子 議員

山際地区除染の現状は

問 馬場・大谷・鹿島区の上栞窪についても、仮置き場が決まらないため、除染が予定どおりに進まない現状をどのように対応するのか伺う。

答 いまだ3行政区について仮置き場が決まっていないことから、設置に向けた住民の合意に向け、視察なども実施しながら最大限努力をしていく考えです。

問 他市では、仮置き場の設置にこだわらず、自宅の敷地などを含めて仮置きが可能な場所から除染を進めている。この方法を取り入れる考えがあるか伺う。

市長の政治姿勢は

答 仮置き場の設置が進まず除染ができない状況が長期にわたって継続する場合には、地域の実情を考慮する。

通学路の点検は

問 線量の高い山際の学校では、安心して児童生徒の登下校ができる環境になっていない。放射線量の影響を受けやすい子供の安全のため、通学路の除染を優先して実施する考えがあるか伺う。



除染作業の様子（原町区押釜）

答 通学路の環境整備については、草刈り、ごみの収集は地域との協力をいただきながら実施する。子供さんあるいは妊婦の方の優先ということ、より丁寧な除染をする必要があり、通学路についても同じく早目を実施していくように考えていく。

質問を終えて

イノシシ・サル等で荒らされて人間も、田んぼも、畑も悲鳴をあげてるよ。

その他の質問

- 1 生活圏除染事業の優先順位は
- 2 有害鳥獣の被害の現状は
- 3 有害鳥獣対策の強化は

広報広聴委員会設置のお知らせ

この度、新たに広報広聴委員会が設置されました。

これまで議会を身近に感じていたのだきたいと広報委員会を中心に、「市議会だより」を発行してきました。また、議会改革検討委員会で議会に関する様々な課題を検討してきました。

市民のみなさんから、いろいろな意見をお聞きし、それを政策にして市に提言していく議会の役割を果たしていくために「意見交換会」を開いていくことになりました。

「市議会だより」の発行と「意見交換会」を議会全体で取り組んでいきます。

意見交換会の実施方法については、先進自治体にも学びながら今後具体化していく方針です。

南相馬市の一日も早い復興と市政発展に貢献していくために、議員一同、一丸となって取り組む所存です。その推進役として広報広聴委員一同、力を合わせていきます。市民のみなさん、「意見交換会」には、ぜひお出かけ下さい。

広報広聴委員会 9人



（後列右から）

- 田中 京子
- 小林 正幸
- 鈴木 昌一
- 山田 雅彦
- 奥村 健郎

（前列右から）

- 小川 尚一
- 荒木千恵子
- ◎田中 一正
- 土田美恵子

◎委員長 ○副委員長



奥村 健郎 議員

問 仮置き場13カ所の考え方および、市民周知の方法は。

答 西側8行政区、太田地区、石神地区、上真野地区、線量の低い原町区、鹿島区ごとに1ヶ所の計13カ所。周知については、区長会を通じ、地区説明会を実施する。

問 用地確保に向けた、これまでの取り組みと、今後の取組みは。

答 これまで60回の住民説明会と、70回以上の協議を実施してきた。今後は整備中の仮置き場視察等により、安全性の理解をいただし設置に努めて行く。

問 グリーンパークの仮置き場の考え方と、本市の今後の対応は。

答 線量の低い地域からの搬入で理解をいただくよう、地元行政区等に働きかけている。

仮置き場設置と一時集積所は

問 農地と生活圏除染の一時集積所の違いは。

答 仮置き場設置が難しく、設置を待っていることは農地除染が進まないことから、仮置き場が設置されるまで、各行政区に一時集積所設置を依頼している。一方生活圏は自主的除染作業による除去土壌を一時的に保管する箇所。

問 一時集積所が確保された地区から、生活圏除染と一体的に実施するとの理解でよいのか。

答 生活圏と一緒に除染を考える行政区については、一定規模の一時集積所が確保できるということになれば、市の担当課は違うにしても、検討し、前向きに面的除染ができるよう十分対応する。

質問を終えて

来年も作付けせず。試験田結果は何？ 作り続けるのが最も有効な除染、中通りが実証!!

その他の質問

- ① 除染計画第2版の作成時期と周知は
- ② 原町クリーンセンターの今後の対応は
- ③ 有害鳥獣対策の今後の対応策は



西 銚治 議員

問 仮設住宅での人口増があるにも係わらず、鹿島区役所職員配置は減っている現状で、充分な住民サービスを行って出来るのか。また今後の組織、人員配置の見直しをどうするか市の考え方を伺う。

答 今年度の機構改革は復旧復興を最優先として配置している。

また、住民サービスを低下させないよう実施することを基本に、人員配置も含めサービス低下を招かないよう努力していく。

問 常磐線上りは完全ストップ。更には、国道6号および常磐道も閉鎖中であり、首都圏に向かう際、福島迄の定期路線バスを使う等、本市の公共交通網は陸の孤島化にあり、深刻である。このような状況の解消策を伺う。

答 JRの復旧はJRと国

適材適所の人事配置は万全か？

に早期復旧を要望している。また原発事故に因果関係のあるものについては東電に損害賠償していく。福島原町間のバス増便、始発・終便、時間帯変更、ダイヤ改正等を協議している。

答 小高方面へのJR常磐線、路線バスについて運行停止中にあり、JR代行バス運行延伸と併せ、福島交通の小高駅までの乗り入れ実現に向け、国・JRおよびバス事業者と協議をしていく考えである。

問 被災者支援のため車川經由相馬・原町間で運行中路線バスの延伸を行い、一時帰宅者の利便性を図るべきと思うが市の考えを伺う。

質問を終えて

福島・原町間のバスは相互の始便午前6時半。終便午後9時と併せ南相馬市民無料化実現を。

その他の質問

- ① 鹿島区役所に、すぐやる課の早期設置を



ストーンクラッシャーによる深耕（原町区馬場）



南相馬市役所ロビー